

勾当台公園

勾当台公園には、歴史上の人物の像や彫刻作品が点在しています。春には桜の花とツツジが、また秋には鮮やかなカエデと銀杏の木が、これらの彫刻の背景になります。

勾当台公園は宮城県庁の隣にあり、緑豊かな樹々が並ぶ定禅寺通から入ったところにあります。この公園は、光のページェント、七夕まつり、青葉まつり など、よく仙台市全体でのお祭りや催しの会場になります。

勾当台公園にある多くの像の中には、仙台出身の人気力士だった谷風梶之助（1750～1795年）の等身大の銅像があります。彼はその時代では際立って長身で、189センチ（6フィート2インチ）ありました。等身大の像は、谷風がどれほど強かったかを表しています。谷風は、相撲の最高位である横綱の称号を受けた、日本で4番目の力士です。